

ポータブルワイヤレススピーカー

NX-P100

取扱説明書



SR·Bass



ご使用前に本書の「安全上のご注意」（14～17ページ）を必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

目次

各部の名称と機能	2
操作ボタン	2
端子	2
充電する	3
本機を充電する	3
電源コンセントから充電する	3
PC から充電する	3
本機からスマートフォン、音楽プレーヤーを充電する	4
接続する	4
Bluetooth	4
Bluetooth 接続する	4
ペアリングする	4
ペアリング済みの機器と Bluetooth 接続する	6
Bluetooth 接続を切断する	6
AUX で接続する	7
USB で接続する	7
音楽を再生する	8
スピーカーフォンとして使う	9
その他の機能	9
音声ガイド	9
音声認識機能	9
オートパワーオフ	9
故障かな？と思ったら	10
主な仕様	12
安全上のご注意	14

本機でできること

- Bluetooth Bluetoothによるワイヤレス接続での音楽再生
- NFC (近距離無線通信) 機能でかんたんペアリング
- 防滴仕様によりアウトドアでの使用も可能
- リチウムイオン電池内蔵で場所を選ばず音楽再生
- 内蔵電池からスマートフォン、音楽プレーヤーを充電
- AUX 接続での音楽再生
- ヤマハ独自の低音再生技術 SR-Bass™ エスアールベース 搭載による、サイズを超えた低音再生
- aptX® アプティエックス コーデック対応による、高音質・低遅延音楽再生
- Asynchronous Transfer Mode アシンクロナス トランスファー モード (非同期転送モード) による、USB 音楽の高音質再生
- 携帯電話などの対応機器でハンズフリー通話
- Siri などの音声認識機能に対応
- 電池残量などの情報を音声でお知らせ (6 言語から選択可能)

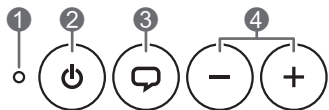
付属品

ご使用の前に、以下の付属品をご確認ください。

- AC アダプター
- USB ケーブル
- 3.5 mm ステレオミニプラグケーブル
- 取扱説明書 (本書)
- ステッカー (無線に関する注意)

各部の名称と機能

操作ボタン



① LED インジケーター

本機の状態を表します。

② 電源ボタン

電源の「入」/「切」を切り替えます。

電源を入れると LED インジケーターが橙色に点灯し、Bluetooth 接続の準備が整います。

③ 通話ボタン

本機と Bluetooth 接続した携帯電話が着信中に押しと、ハンズフリー通話ができます (P. 9)。

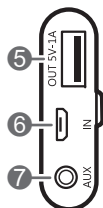
その他、以下の機能があります。

- 電池残量などの情報を音声でお知らせ (P. 9)。
- 音声認識機能対応端末の音声操作 (P. 9)。

④ 音量 - / + ボタン

音量を調節します。

端子



⑤ USB 端子 (Type A)

USB ケーブル (大きいプラグ) を接続します (P. 4)。

⑥ USB 端子 (Micro B)

USB ケーブル (小さいプラグ) を接続します (P. 3、7)。

⑦ AUX

3.5 mm ステレオミニプラグケーブルを接続します (P. 7)。



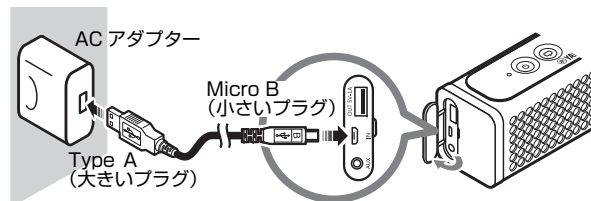
充電する

以下の方法で本機を充電することができます。また、本機の電池からスマートフォンや音楽プレーヤーを充電することもできます。

本機を充電する

◆ 電源コンセントから充電する

付属の USB ケーブルと AC アダプターを使用してコンセントに接続します。



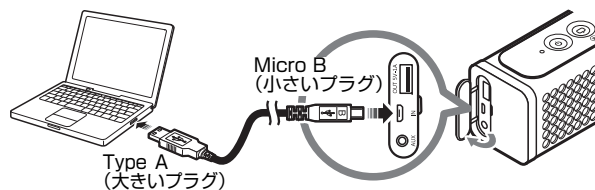
- 充電時間は約5時間です。
- 本機を充電中は LED インジケーターがゆっくりと点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります(電源が「切」の状態では充電してない場合は消灯します)。
- 本機の電池残量が少なくなると、LED インジケーターが速く点滅します。



- 温度が非常に高いところや低いところでご使用の際は、充電が早く終わったり、充電できなったりする場合があります。
- 機能を維持するため、半年に一度は充電するようにしてください。
- 充電には寿命があります。使用回数や時間の経過によって容量が少しずつ低下します。
- 充電の寿命は保管方法、使用状況や環境によって異なります。

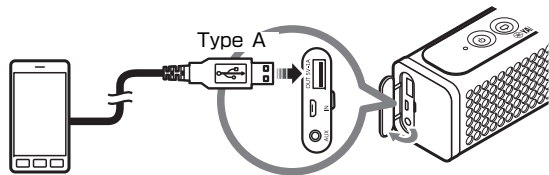
◆ PC から充電する

付属の USB ケーブルを使用して PC に接続します。



本機からスマートフォン、音楽プレーヤーを充電する

お使いの機器に対応した USB ケーブルを使用してスマートフォンまたは音楽プレーヤーに接続します。



- ご使用の機器によっては、充電できない場合があります。
- USB 端子 (Type A) は充電用です。データ通信はできません。



充電の際は本機の電源を切ってください。電源を切った後、最大 2 時間充電できます。

接続する

Bluetooth

本機は Bluetooth 接続、AUX、USB で外部機器との接続ができます。

Bluetooth 接続する

◆ ペアリングする

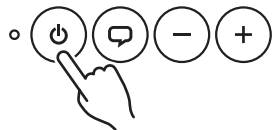
ペアリングとは、通信を行なう機器(以下「接続機器」)を本機に登録する操作です。

初めて Bluetooth 接続を使用するときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行なう必要があります。

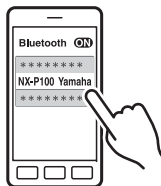



- 本機と接続機器の距離は 10 m 以内(障害物が無いこと)にしてください。
- ペアリングが完了していることを接続機器で確認し、成功していない場合はペアリングをやり直してください。
- ペアリング中に本機への電源供給が断たれるとペアリング情報が破棄されることがあります。その場合はペアリングをやり直してください。
- 本機は最大 8 台の接続機器とペアリングできます。9 台目のペアリングが成功すると、Bluetooth 接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
- 本機が別の機器と Bluetooth 接続している場合は、その機器との接続を切断してからペアリングしてください(☞ P. 6)。

1



2



1.  (電源) ボタンを押して本機の電源を入れる。
2. 接続機器でペアリング操作をする(詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください)。本機は接続機器に「NX-P100 Yamaha」と表示されます。パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力します。

□かんたんペアリング

NFC(近距離無線通信)機能搭載スマートフォンなら、本機の NFC マークにスマートフォンをタッチするだけで簡単にペアリングができます(あらかじめ本機の電源を入れ、接続機器の NFC 機能をオンにしてください)。

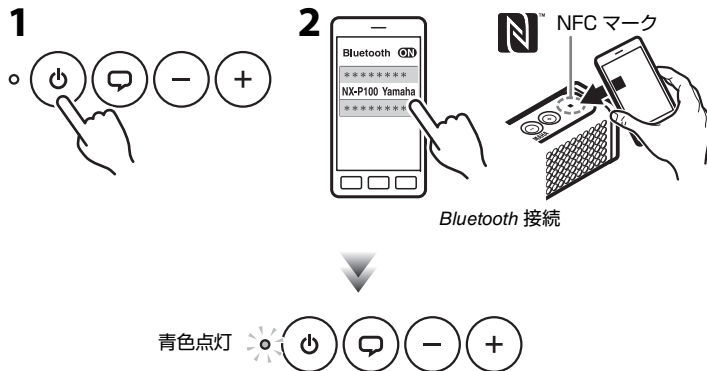


接続がうまくいかないときは、スマートフォンを NFC マークの上でゆっくり動かしてください。スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。

◆ ペ어링済みの機器と Bluetooth 接続する

Bluetooth

ペ어링については、「ペ어링する」(P. 4)を参照してください。



1. (電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。
2. ペ어링済みの接続機器で Bluetooth 接続操作をする。

Bluetooth 接続が完了すると、LED インジケーターが青色に点灯します。



- 接続機器によってはペ어링と同時に Bluetooth 接続されます。その場合、この操作は不要です。
- 最後に Bluetooth 接続した接続機器と接続可能な場合、本機の電源を入れると自動的にその接続機器と Bluetooth 接続されます。

◆ Bluetooth 接続を切断する

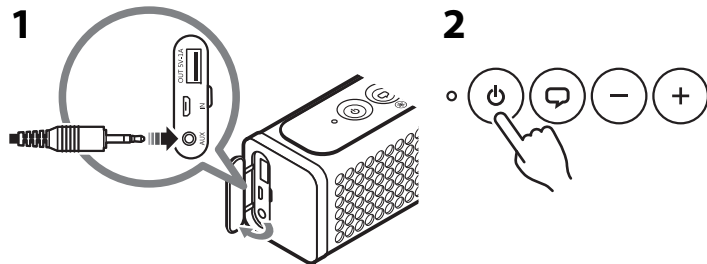
Bluetooth 接続中に以下のいずれかの操作を行なうと、Bluetooth 接続が切断されます。

- 本機の (電源)ボタンを長押しする(約 1 秒間)。
- 接続機器で Bluetooth 接続を切断する。
- Bluetooth 接続中の NFC 機能搭載スマートフォンを NFC マークにタッチする。
- 本機の電源を切る。

接続が切断されると、LED インジケーターが青色から橙色に変わります(電源を切った場合は消灯します)。

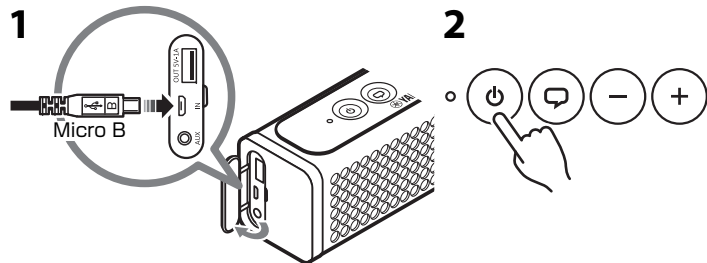
AUX で接続する

接続の前に、本機と接続機器の電源を切ってください。



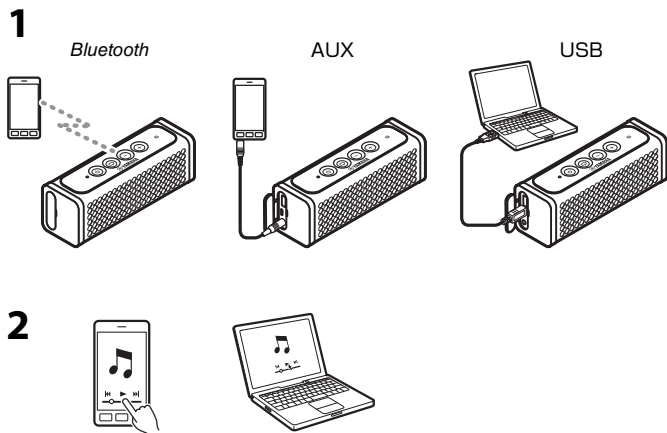
1. 付属の 3.5 mm ステレオミニプラグケーブルで AUX にスマートフォンや音楽プレーヤーを接続する。
2. (電源) ボタンを押して本機の電源を入れる。

USB で接続する



1. 付属の USB ケーブルで USB 端子 (Micro B) に PC を接続する。
! Type A 端子には接続できません。
2. (電源) ボタンを押して本機の電源を入れる。

音楽を再生する



1. 本機と接続機器を接続する(☞ P. 4、7)。

2. 接続機器を操作して音楽を再生する。



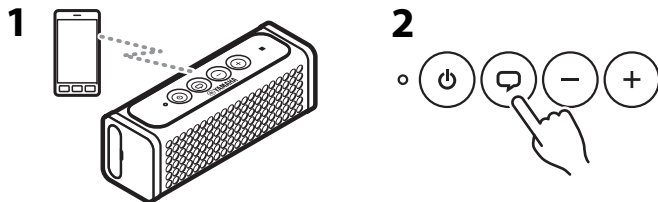
- 再生する前に本機と外部機器の音量を十分に下げてください。
- 本機の音量設定を大きくしすぎないようにしてください。音量は接続機器で調節することをおすすめします。





- 本機に複数の機器が接続されている場合、音楽の再生は Bluetooth 接続 > AUX > USB の順で優先されます。
- 音楽を再生中、本機を操作しない状態が 8 時間続くと、本機の電源は自動的に切れます。

スピーカーフォンとして使う

携帯電話などのハンズフリー対応機器と Bluetooth 接続することにより、本機のマイクとスピーカーを使用したハンズフリー通話ができます。



1. 本機と対応機器を *Bluetooth* 接続する (P. 4)。
2. 電話が着信したら、本機の  (通話) ボタンを押す。
ハンズフリー通話が始まります。
終了するには、もう一度  (通話) ボタンを押します。

その他の機能

音声ガイドンス

 (通話) ボタンを押すと、本機の電池残量などの情報を音声でお知らせします。


◆ 言語の切り替え

本機の電源が入っていて *Bluetooth* 接続がされていないとき、 (通話) ボタンを押しながら  (音量-) または  (音量+) ボタンを押すと、言語が切り替わります。



切り替え時には、選んだ言語を音声でお知らせします (音声オフを選んだ場合は電子音が鳴ります)。切り替え可能言語については、「主な仕様」(P. 12) をご覧ください。

音声認識機能

Siri などの音声認識機能対応の端末と *Bluetooth* 接続中に本機の  (通話) ボタンを長押し (約 1 秒間) すると、端末を本機から音声で操作できます。詳しくは端末の説明をご参照ください。



音声認識アプリによっては機能しないものもあります。

オートパワーオフ

本機に *Bluetooth* 接続、AUX、PC との USB 接続がないとき、操作しない状態が 10 分間続くと、本機の電源は自動的に切れます。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
音が出ない。	本機と接続機器が正しく接続されていない。	接続をやり直してください(☞ P. 4)。
	本機か接続機器の音量が最小になっている。	本機と接続機器の音量を上げてください。
	本機の電池残量が少なくなっている。	本機を充電してください(☞ P. 3)。
音量を上げてても音が大きくなりません。	音量が大きすぎるため、保護回路が働いている。	音量を下げてください。
	接続機器の音量が小さい。	接続機器の音量を上げてください。
LED インジケーターが速く点滅する。	本機の電池残量が少なくなっている。	本機を充電してください(☞ P. 3)。
本機がまったく動作しない。	本機の電池残量が少なくなっている。	本機を充電してください(☞ P. 3)。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	Ⓞ(電源ボタン)を 10 秒以上長押しして本機をリセットしてください。リセットが完了すると、ボタンを離した時に LED が一瞬白く点灯します。その後、3 秒以上待ってから本機の電源を入れてください。

Bluetooth

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	接続機器が本機の Bluetooth プロファイルに対応していない。	対応した機器とペアリングしてください(☞ P. 12)。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外である。	パスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	本機と接続機器の距離を 10 m 以内にしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線 LAN 機器など)がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
Bluetooth 接続ができない。	すでに他の機器と接続している。	他の Bluetooth 接続を切断してください(☞ P. 6)。
	接続機器とのペアリングができていない。	ペアリングをやり直してください(☞ P. 4)。

症状	原因	対策
音が出ない、または音が途切れる。	Bluetooth 本機と接続機器との Bluetooth 接続が切断された。	接続し直してください(※ P. 6)。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	本機と接続機器の距離を 10 m 以内にしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線 LAN 機器など)がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	接続機器の Bluetooth 機能がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 機能をオンにしてください。
	接続機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	接続機器の Bluetooth 機能が正しく設定されているか確認してください。
	接続機器の出力先が本機になっていない。	接続機器の出力先を本機(NX-P100 Yamaha)に切り替えてください。
ハンズフリー機能が使えない。	接続機器が HFP、HSP に対応していない。	HFP、HSP に対応した機器をご使用ください。
ハンズフリー対応機器を Bluetooth 接続しているとき、着信音が本機から聞こえない。	機器の音声出力先が本機に設定されていない。	機器を操作して音声出力先を本機に切り替えてください。

USB

症状	原因	対策
音が出ない。	接続機器の出力先が本機になっていない。	接続機器の出力先を本機(NX-P100 Yamaha)に切り替えてください。
	AUX にケーブルが接続されている。	AUX にケーブルが接続されている時は AUX の再生が優先されます。AUX からケーブルを取り外してください。

その他

症状	原因	対策
本体の電源が勝手に切れる。	オートパワーオフ機能が働いた。	本機に Bluetooth 接続、AUX、PC との USB 接続がないとき、操作しない状態が 10 分間続くと、本機の電源は自動的に切れます。 音楽を再生中でも、本機を操作しない状態が 8 時間続くと、本機の電源は自動的に切れます。
オートパワーオフ機能が働かない。	本機に Bluetooth 接続、AUX、PC との USB 接続がされている。	Bluetooth 接続、AUX、PC との USB 接続を切断してください。

主な仕様

[2013年8月現在]

Bluetooth

◆ Bluetooth

Bluetooth バージョン Ver. 2.1+EDR
対応プロファイル A2DP, HFP, HSP
対応コーデック SBC, AAC, aptX®
無線出力 Class 2
最大通信距離 10 m (障害物が無いこと)
対応コンテンツ保護 SCMS-T 方式

◆ USB

対応サンプルレート / bit 96 kHz/24 bit, 48 kHz/24 bit
対応 OS Windows XP, Vista, 7, 8
Mac OS 10.6.8, 10.7, 10.8
入力 USB タイプ USB Micro B

◆ AUX

AUX 入力端子 3.5 mm ステレオミニジャック

◆ NFC (近距離無線通信)

対応機種 NFC 対応 Android 機器 Ver 4.1, 4.2
※ 機種によっては動作しない、または接続可能な距離が異なる場合があります。

◆ 音声ガイドンス

対応言語 英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、日本語

◆ アンプ / スピーカー

最大出力 2.0 W + 2.0 W (4 Ω, 1 kHz, 10 % THD)

◆ スマートフォン充電

電圧 / 電流 5 V / 1 A
出力 USB タイプ USB Type A

◆ 充電電池

内蔵電池 リチウムイオン電池
容量 / 電圧 2100 mAh / 3.6 V
再生可能時間 フル充電で約 8 時間 (出力 160 mW 時)
充電時間 約 5 時間
充電温度範囲 0 ~ 40 °C

◆ 電源

電源電圧 / 周波数 AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力 2 W
電源「切」時の待機電力 0.5 W 以下
AC アダプター MU05B2050100-A1 (DC 5 V, 1 A)

◆ 総合

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) 172 × 60 × 54 mm
質量 500 g

※ 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ この製品の水の浸入に対する保護等級は「JIS 第 2 特性数字 4 等級 (IPX4) 相当」です。

※ 製品ラベルは本体の底面に掲示しています。

※ Windows™ は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ aptX® は CSR 社の商標です。

※ Siri は米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

Bluetooth について

- Bluetoothとは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIGの登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

対応コーデックについて

- 本機は aptX[®] コーデックに対応していますが、接続する機器によっては、ワンセグなどの音声再生できない場合があります。その場合は接続機器の aptX 設定をオフにして、接続し直してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

本機の無線方式について



- [2.4]..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
- [FH]..... 変調方式は周波数ホッピング(FH-SS 方式)
- [1]..... 想定干渉距離が 10 m 以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

USBケーブルを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ず電源電圧（100V）で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

設置



禁止

放熱のため、本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm 以上離してご使用ください。

ペースメーカーに影響を与え重大事故につながるおそれがあります。

充電



禁止

本製品が濡れている状態では絶対に充電しない。
感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因になります。

使用上のご注意



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
● 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
● 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、USBケーブルをひっぱらない。
ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



必ず実行

付属のAC アダプターを使用する。

それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。



禁止

AC アダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。

熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害を与えるおそれがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

再生の前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。

本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

防水性についてのご注意

この製品は多少の雨や雪、水しぶきの掛かるところでも使える防滴仕様ですが、次の点に十分ご注意ください。

- 大量に水をかけない。
- 水の中につけない。
水中に落ちた場合は故障の原因になります。
- 製品に水滴がついた場合は、できるだけ早く乾いた布でふき取る。また、大量に水がかかった場合は、すぐに電源を入れず、乾燥した場所で1日以上乾かしてから電源を入れる。
- 底面のスリットから水が内部に浸入する危険があるため、操作スイッチを上にして設置する。
- 水がかかる場所や湿気の多い環境では、必ず端子カバーを閉める。
- AC アダプターは防滴ではないので水に濡らさない。

誤った取扱いによる水の浸入で生じた故障については、保証期間内でも保証対象外となります。

充電電池について



Li-ion20

本機にはリチウムイオン電池が使用されています。リチウムイオン電池はリサイクルできます。お客様自身で電池を取り外すことはできませんので、本機が不要になりましたら、巻末の「ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問合せ」に記載しておりますヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

電池の交換を希望する場合も、巻末のヤマハ修理ご相談センターへお問合せください。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

車内・屋外での使用上の注意

- 運転中は使用しないでください。
- 炎天下の車内や直射日光の下、またはほこりっぽいところに設置したり放置したりしないでください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00

(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示しております。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例 ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

*このページは、製品にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1



© 2013 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社
Printed in China ZH45900